

これまでとこれから

2024年4月、武庫川女子大学文学部に新たな学科として歴史文化学科が発足しました。これまで史学系の学科を持っていなかった武庫川女子大学に歴史文化学科が誕生するまでの経緯について、当時の文学部長として新学科立ち上げに尽力された影山尚之教授による基調講演を行います。また、第1期・第2期入学生を学科に迎えて2年度目に入った今日、これからの歴史文化学科がどのように歩んでいくのかについて、影山教授と武藤康弘学科長が学科の将来像を座談会形式にて語り合います。

なお、2025年度より歴史文化学科の専任教員・学生を会員として「武庫川女子大学歴史文化学会」が新たに発足します。今回の講座は学会立ち上げを記念して、学科と学会の共催により開催します。

2025年 6月1日(日)

13:30～15:30(13:00開場)

武庫川女子大学日下記念マルチメディア館1F
メディアホール

基調講演

武庫の浦の賑い

～武庫女に歴文学科が出来たワケ～

影山 尚之教授 (武庫川女子大学文学部日本語日本文学教授・
武庫川女子大学附属図書館長)参加
無料事前申込
不要直接会場へ
お越しください

座談会

歴史文化学科のこれまでとこれから

影山 尚之教授

武藤 康弘学科長 (武庫川女子大学文学部歴史文化学科教授)

歴史文化学科の新設を記念して一昨年よりスタートした歴史文化講座は、今回で5回目となります。今回からは歴史文化学科と、今年度より新たに発足する武庫川女子大学歴史文化学会との共催により実施します。歴史文化学科への進学を考えている高校生の参加も歓迎します。みなさまお誘いあわせのうえお越しください。



【影山尚之(かげやまひさゆき)】

1960年大阪府豊中市生まれ。関西学院大学大学院博士課程単位取得退学。博士(文学)(奈良女子大学)。上代日本文学専攻。主な著書(単著)に『萬葉和歌の表現空間』(塙書房)、『歌のおこない 萬葉集と古代の韻文』(和泉書院)、『萬葉集の言語表現』(和泉書院)。萬葉学会編集委員、美夫君志会副会長、上代文学会理事ほか。



【武藤康弘(むとうやすひろ)】

1959年秋田県秋田市生まれ。國學院大学大学院文学研究科博士前期課程修了 博士(文学)(東京大学)。考古学・文化人類学・民俗学専攻。主な著書(単著)に『映像でみる奈良まつり歳時記』(ナカニシヤ出版)、『秋篠文化 第13号 大和の風流芸能』(NPO法人奈良芸能文化協会)。その他、考古学関係の一般書の監修多数。日本考古学協会・日本文化人類学会・日本民俗学会会員。



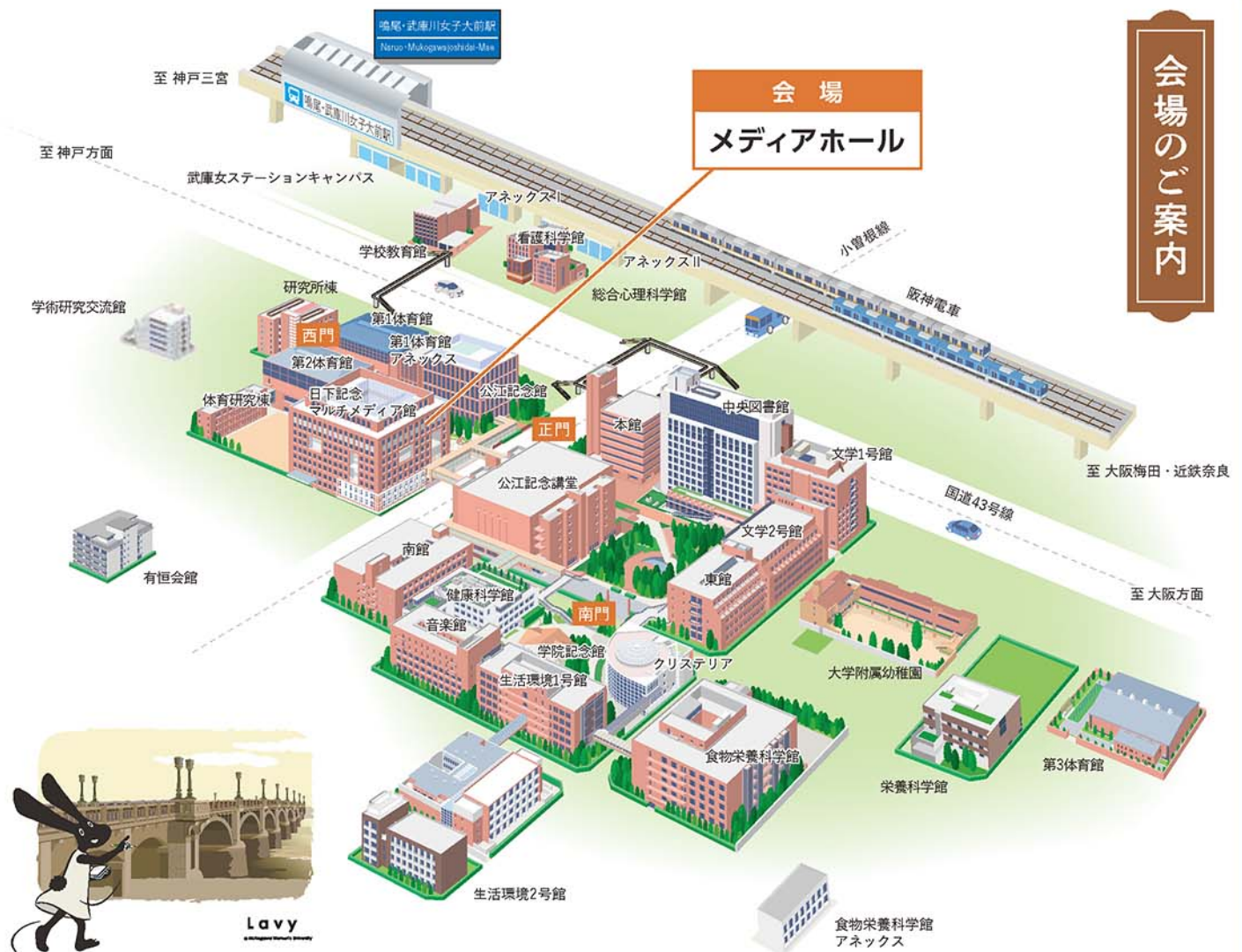
《第5回歴史文化講座》歴史文化学科の

これまでとこれから

2025年
6月1日 日

13:30～15:30 (13:00開場)

武庫川女子大学日下記念マルチメディア館1F メディアホール



公共交通機関をご利用の場合

阪神本線「鳴尾・武庫川女子大前駅」下車、南東へ徒歩約8分

※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

